

熊本県公立中学校における 休日の文化部活動の地域移行推進計画概要



熊本県教育庁市町村教育局義務教育課

1 本推進計画策定の背景

- 学校教育の一環としての部活動の意義
 - ・ 異年齢交流、生徒同士、教師等と生徒等の人間関係構築等
 - ・ 生徒自身が活動を通して自己肯定感を高める
 - ・ 責任感や連帯感の涵養に資する など
- 課題
 - ・ 少子化による学校部活動としての体制づくりが困難
 - ・ 専門性の有無に関わらず教師等が顧問を務める指導体制の存続が困難
- 国の動向
 - ・ H30(2018)文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン(文化庁)
 - ・ R4(2022)文化部活動の地域移行に関する検討会議(文化庁)
 - ・ R4(2022)学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン(スポーツ庁・文化庁)

2 推進計画の概要

- (1) 推進計画策定の趣旨
 - ・ 学校と地域との連携・協働により生徒の自主的で多様な文化芸術活動の場を将来にわたって継続して親しむ機会を確保するため、多くの関係者が連携・協働し、休日の文化部活動の地域移行実現に向けた総合的・計画的な進め方等を示す
- (2) 推進計画の位置付け
 - ・ 「新しいくまもと創造に向けた基本方針」施策4、「第2期熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「第3期くまもと『夢への架け橋』教育プラン」
- (3) 推進計画区域の設定
 - ・ 県内44市町村(熊本市を除く)※熊本市における地域移行と連携
- (4) 推進計画の期間
 - ・ R5(2023)～R7(2025)までの3年間を「改革推進期間」

3 本県の状況

- 中学校の学校数生徒数、教員数の減少(H16→R4)
学校数: 154→122、生徒数: 37,990人→27,730人、
教員数: 2,978人→2,668人
- 中学校文化部活動設置数(H30→R5)154部→143部
- 市町村立学校教職員の時間外在校等時間: 月45時間超40.6%



4 熊本県公立中学校における休日の文化部活動の 地域移行の基本方針

- (1) 中学校における休日の文化部活動を地域移行する
 - ・ 市町村の既存の地域文化クラブ活動を含む文化芸術環境の一体的な整備・充実を図り、主に地域文化クラブとして活動
 - ・ 地域移行の受け皿としては、市町村、文化芸術団体、大学、民間事業者、地域学校協働本部、総合型地域スポーツクラブ(文化芸術含む)等が連携
 - ・ 受け皿づくりが困難な場合は、地域人材を部活動指導員として受け入れたり、複数の中学校での合同部活動を実施したりする
- (2) 生徒の発達段階に応じた適切な活動計画による地域文化クラブ活動を行う
 - ・ 休日と平日での指導者の情報等の共有
 - ・ 適切なコンクール等への参加や休養日を設定し、適切な活動計画による指導
- (3) 指導者の確保と資質向上を図る
 - ・ 県は、市町村や文化芸術団体等と連携を図り、指導者を確保し、資質向上に向けた講習会等を実施
 - ・ 指導内容や方法及び事故防止・安全確保等について理論付けられたものや新たに開発されたものなどを活用

5 具体的な方策

- ・ 県: 市町村及び中学校等への周知、市町村の円滑な運営のための支援 等
- ・ 市町村: 協議会の設置、運営団体等の確保、コーディネータの配置 等
- ・ 中学校: 校内委員会等の設置、生徒・保護者への説明 等

6 今後の進め方

- ・ R5(2023)からR7(2025)まで 改革推進期間
- ↓
- ・ 県: 文化部活動地域移行推進委員会、市町村説明会、ヒアリング、助言、人材バンクの整備 等
 - ・ 市町村: 推進計画を踏まえ、ニーズ・課題の把握、地域移行計画作成等

